ウラル連邦大学の大学院生が選ぶ

日本とロシアに関係のある人物

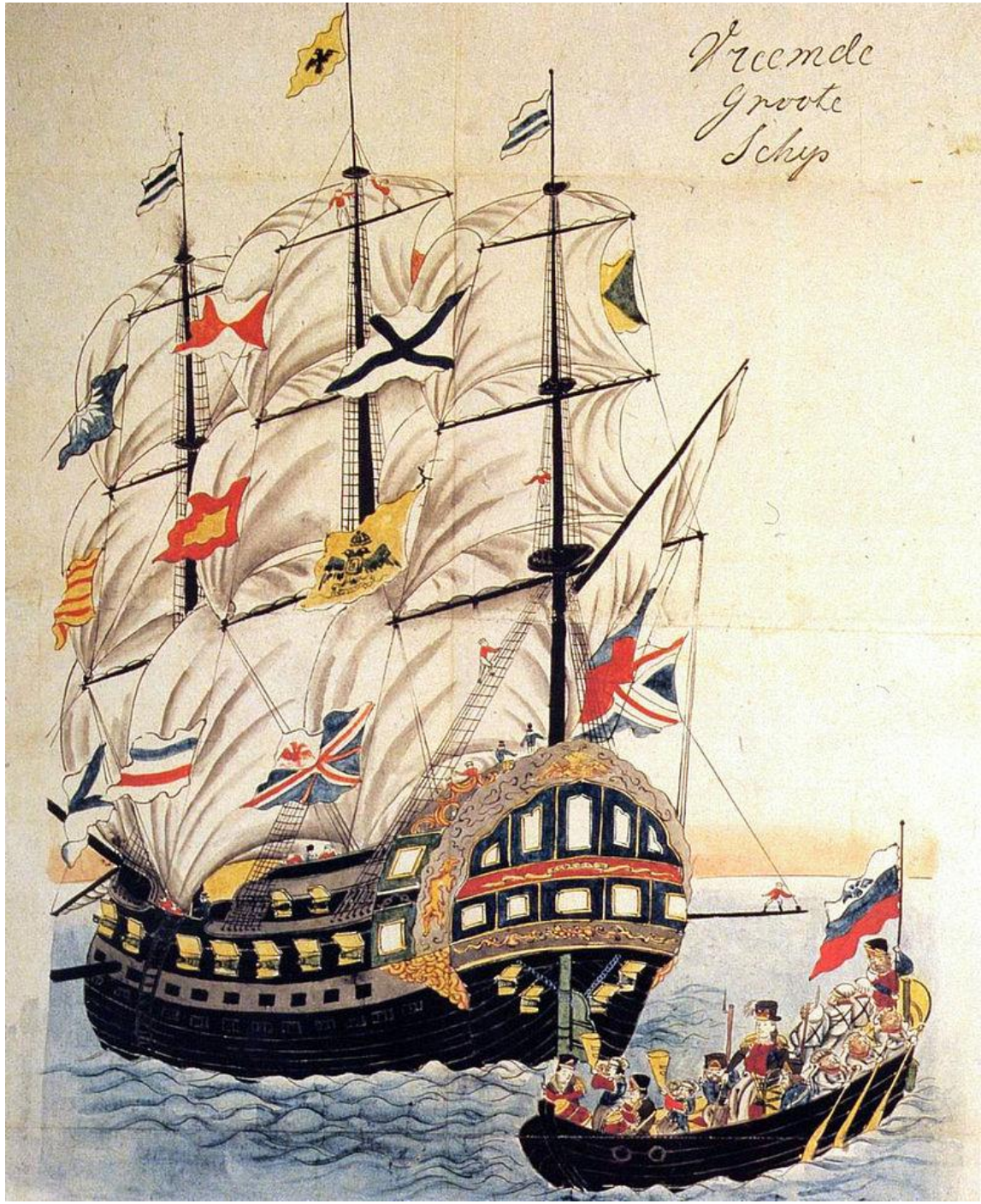
人物紹介

- エフィム・プチャーチン提督
- 1803年11月8日（サンクトペテルブルク）～1883年10月16日（パリ）
- ロシアの海軍軍人、政治家、教育大臣
- 日本に来て、日露和親条約を締結しました。

時代背景

- 日本が鎖国中でいる間、ロシア人は日本との経済関係を結びたかった時代でした。アメリカより早く条約をしたかったけど、結局ペリーより2ヶ月遅く来日しました。

- ロシアの船のために長崎、戸田、はこだて港が開きました。
- ロシアが日本で商売許可をもらいました。
- 千島列島のいくつが日本のものになりました。



実績・影響

- １８５４年に下田市での交渉中にプチャーチン提督の船、ディアナ号が津波で大きい被害を受けて、静岡県の戸田村へ修理をしに運ばれる予定でした。しかし、その際はディアナ号が沈んでしまって、新しい船を作るしかありませんでした。そして、戸田村民がプチャーチン提督チームを助けてくれて、一緒に新しい「ヘダ号」という船を作りました。
- その際で、戸田村に造船博物館があります。そこはプチャーチン提督とその船に関する資料があります

感想

- 実は私が戸田村にある造船博物館を訪ねたことがあります！そのきっかけでプチャーチン提督に興味を持つようになりました。
- 戸田村はあまり知られていないところですが、長い歴史があるし、魅力的でとても日露関係に大切な場所だと思います。

ご清聴ありがとうございました